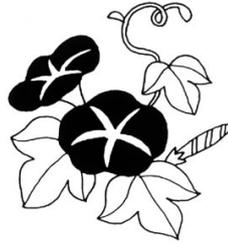


# 祇園祭



応仁の乱。一面の焼け野原から、三十年の中断を経て不死鳥のようによみがえった祇園祭。

無病息災でくらしを守る  
平和でこそ京のまちがある  
京町衆の心意気が込められています。



2019年7月15日号 発行：日本共産党京都府委員会  
〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町 186 Ⅱ 075(211) 5371

日本共産党京都府委員会が、次の見解を発表しましたので紹介します。



## 祇園祭の歴史

平安時代の869年に、疫病退散を祈願して鉾を立てたのが始まりと伝えられています。

応仁の乱（1467～1478年）で京は焼け野原になり、祭も30年間中断。その後、町衆の力で復興され、幕末、第2次世界大戦で一時中断したものの、1100年を超え発展しています。

現在、山鉾は33基。すべての山鉾をまわると約6キロの道のりです。

2014年から約半世紀ぶりに、17日の前祭（山鉾巡行・神幸祭）と24日の後祭（山鉾巡行・還幸祭）が復活しました。



# お金の心配なく学び、子育てできる社会に

あなたの声を

日本共産党は全力応援

4つまとめて今すぐ実現！  
子ども応援！無償化！バツクー！

- ①大学・専門学校の授業料を半額に
- ②小中学校給食費など義務教育費を無料に
- ③幼児教育・保育  
認可保育所を30万人分増やす、  
保育士の月5万円賃上げ
- ④子どもの医療費無料化

# 減らない 年金

高額所得者優遇ただし、  
200兆円の積立金の活用などで減らない年金を提案します。

共産党は提案します

安倍政権が  
年金を  
7兆円  
大削減

山鉾巡行

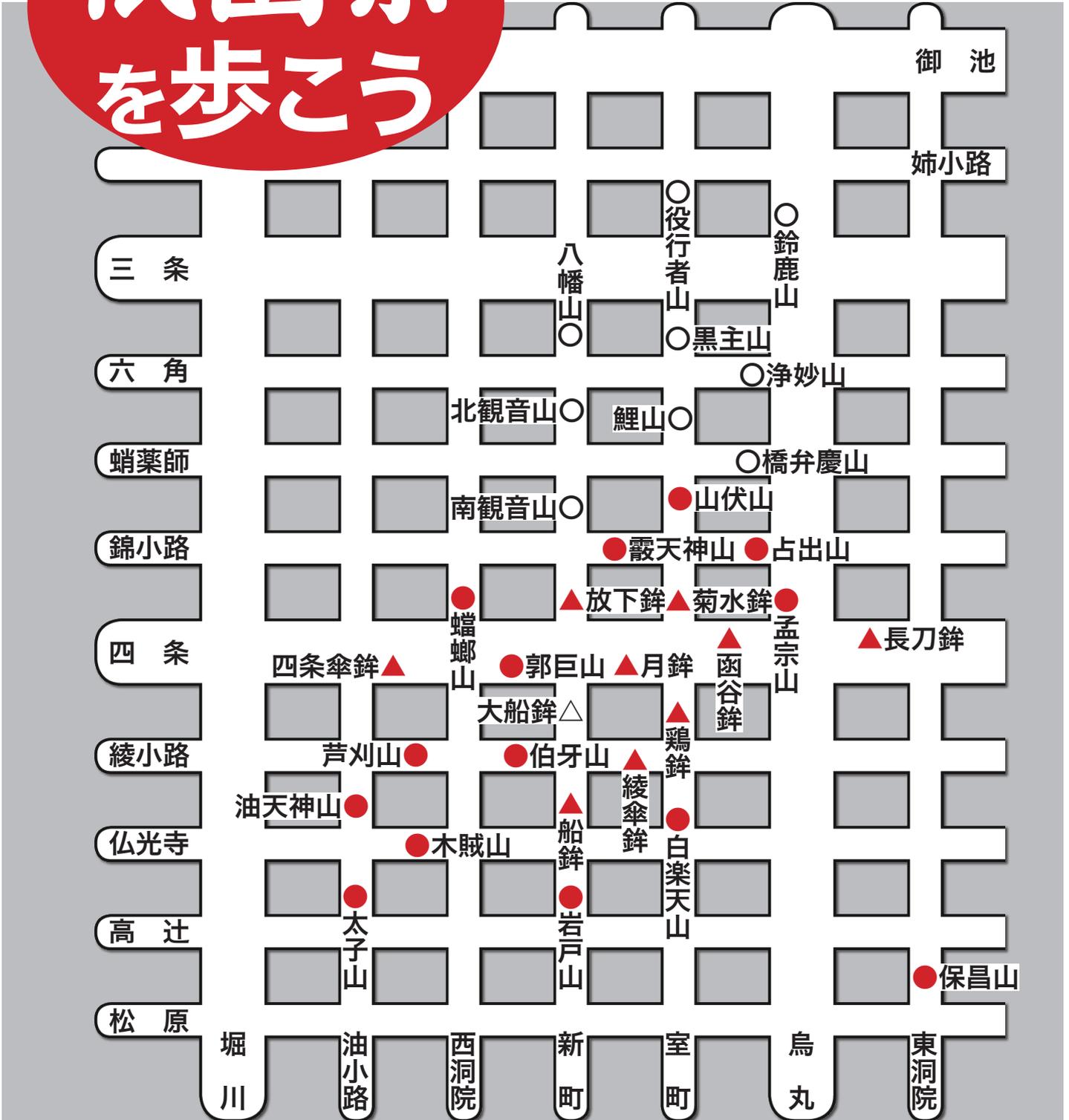
前祭 = 7月17日(水)

後祭 = 7月24日(水)

祇園祭  
を歩こう

●▲ = 前祭の山鉾

○△ = 後祭の山鉾



平和でこそ京のまちがある  
京町衆とともに歩いて97年

